



2018年6月15日
東日本旅客鉄道株式会社
水戸支社

水戸支社踏切安全対策の取組みについて

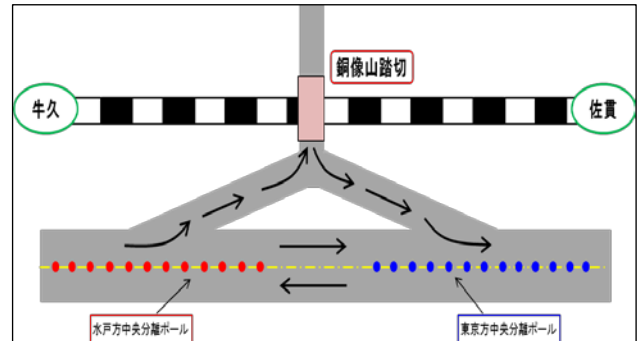
JR 東日本水戸支社では踏切事故防止の取組みとして、関係自治体と連携した踏切支障件数低減対策や第4種踏切の安全対策を行うことで、踏切の安全性を向上させるよう取り組んでいます。

1 常磐線佐貫～牛久駅間 銅像山踏切の安全対策

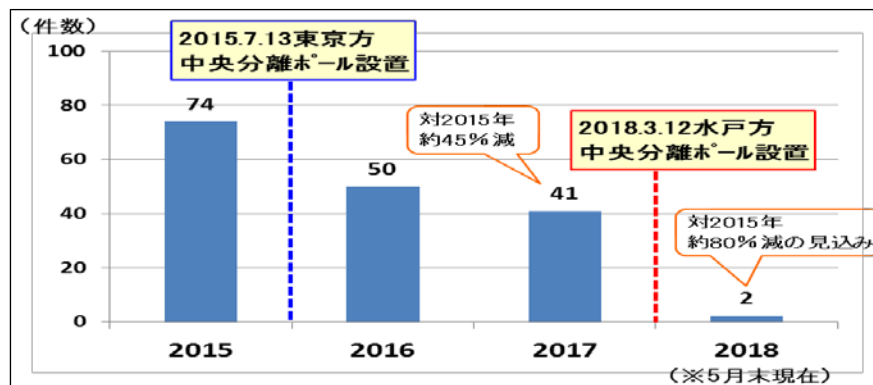
常磐線銅像山踏切に隣接する国道6号において、国土交通省常陸河川国道事務所、牛久警察署、牛久市のご協力をいただき、中央分離ポールを新設いたしました。国道6号から踏切への車両進入を抑制することで、踏切支障件数が大幅に減少しています。



中央分離ポール設置



道路略図



銅像山踏切 踏切障害物検知動作による踏切支障件数の推移

2 第4種踏切の安全対策

(1) 第4種踏切の廃止

※第4種踏切とは…しや断機と踏切警報機がない踏切

①水戸線下館駅構内栄踏切

筑西市、関東鉄道(株)及び真岡鐵道(株)と協力して2018年2月23日に廃止しました。



廃止前



廃止後

②水郡線常陸大宮～玉川村駅間 らいじんさました 雷神様下踏切

常陸大宮市と協力して、2017年11月9日に廃止しました。



廃止前



廃止後

(2) 第4種踏切の防草対策

第4種踏切の左右(約50mずつ)に防草シートを敷設することで踏切を通行される方の列車の見通しを保つように改善しています。平成30年3月までにすべての第4種踏切45箇所において対策を行っています。



防草シート敷設後

(3) 第4種踏切近くの小学校等を訪問

社員が毎年、第4種踏切近くの小学校や幼稚園を訪問し、踏切の説明や踏切横断時の注意点を説明し、啓発活動を行っています。



小学校訪問



幼稚園訪問